

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		団塊・シニア世代男性の家事教室事業(家族介護教室事業への一部追加)				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康					
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	坂井晴代					
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2118					
法令根拠						介護保険法第115条の44								
予算科目	会計	30	款	11	項	2	目	5	事業連番	10474	<input checked="" type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
コスト削減優先度評価結果													—	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 12 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)														
【事業の内容】 高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続、向上を図る。介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得させるための教室を開催する。														
【業務の流れ】 事業は、社会福祉協議会に委託する。														
【主な予算費目】 委託料														

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 社会福祉協議会が介護者を対象に介護の知識・技術を習得するため開催している教室に団塊世代男性の家事教室等を追加して実施。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 参加者少数のため休止する。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 介護認定者や高齢者を介護している家族 介護認定者や高齢者を介護している近隣の援助者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 教室の参加者数 人 イ 教室の開催回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 介護認定者や高齢者を介護している家族数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 健康である	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 介護方法・予防の知識を習得した人数 人 イ 介護の技術を習得した人数 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 高齢者に占める特定高齢者の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円			105	105			総 ト ー タ ル コ ス ト
		都道府県支出金	千円			52	52			
		地方債	千円							
		その他	千円			50	50			
		繰入金	千円			53	53			
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円		0	260	260	0	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	3			
	延べ業務時間	時間		130	130	51				
(B)人件費計	千円		0	517	517	203	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	517	777	463	0	0	0	
活動指標	ア 人 イ 回				15 6	13 5				目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	ア 人 イ				1620	1650				
成果指標	ア 人 イ 人				15 15	13 13				
上位成果指標	ア % イ				3	4.63				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成12年度より、地域ささえあい事業として開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

旧合志町では行っていなかったが、旧西合志町で行っていたのですりあわせて合併後も行っている。確実に地域住民の関心は高まり、高齢者を抱える家族の受講が毎年多くなってきており、事業に求められる内容が高度化してきている。認知症に関する教室は、家族や不安を抱える高齢者にまで関心が高まっている。団塊世代男性が大量に高齢者の仲間入りをしてくる。1日でも長く元気で生活を送っていただくことが、介護給付費や医療費の増高に歯止めをかけられる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	団塊・シニア世代男性の家事教室事業 (家族介護教室事業への一部追加)	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------------------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できることにより、不自由なく地域で生活できるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 施設に入所すれば市の負担が増加するが、在宅であれば市の負担は軽減されるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 今年度参加者が少なく、社会福祉協議会で地域づくりの一環として実施しているため21年度は休止する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) 社協で地域づくりの一環として実施している。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在社会福祉施設を利用しているため、使用料を払っているため、使用料のかからない施設を探す。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託により実施しており、職員がかかわる部分は最低限度である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用者には、費用の一部を負担して貰っており、公平・公正だと考える。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成20年度から追加した事業ではあるが、参加者少数により21年度は中止する。												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 団塊世代男性が大量に高齢者の仲間入りをしてくる。男性のひとり暮らしも増えている現状で今まで家事に慣れていなかった男性を、突然のひとり暮らしになっても自立した生活を送れるように指導し、1日でも長く元気で生活を送っていただくことが、介護給付費や医療費の増高に歯止めをかけられる。いかにして事業に参加させるかが課題である。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)